

優良賞

見たことのない福祉の世界

真鶴町立まなづる小学校五年 山本 椀乃

「福祉」とは、生まれてから亡くなるまで幸せになるためのサポートをすることです。私もお母さんもお父さんもご老人もみんなみんなサポートしてもらえる、それが「福祉」です。それは実際に、どこにありどんなものなのか疑問に思い探してみることになりました。

私は、塾に行くために一週間に三回、電車に乗っています。電車には優先席というものがあつて、そこは高齢の方や妊婦さん、足が不自由な人、子連れの人などが座るところです。この優先席のことを少し考えてみたときに「これも福祉というもののかな。」と思いました。

そのように見てみると、いたるところに「福祉」がありました。バスの中には、車椅子の人が座りやすいようにおりたたみ式の椅子、高いところ、低いところの両方にブザーがあります。エレベーターには、子供が届きやすいように低いところにボタンがつけられており、横断歩道には、青信号になったら音が鳴るように工夫されています。見れば見るほど見つきり、人々の工夫は、すごいと思いました。「福祉」という視点からは、今まで気がつかなかったことでした。全然違う世界に見えました。そんなすごいことをなぜ今まで気づかなかったのだろう。みんなが楽しく過ごせるようすべての人々のために人々が考え、作った工夫です。そう思うと「福祉」は、まだまだできることがたくさんあると思いました。

いろいろな人が快適に楽しく過ごせるような人々の工夫を見つけました。そして、それは全ての人に役立っていることを知りました。そこで私はもつと色々な「福祉」を探したいと思いました。旅行に行っても楽しむだけではなく、それぞれの地域の工夫を見つけ、なぜその工夫をしているのかを知り、真鶴町で自分ができ

ることをしたいと思います。